

オスプレイ訓練の厚木拠点化反対

厚木爆同

【発行】
 厚木基地爆音防止期成同盟
 発行責任者 大波修二
 事務所 大和市桜森3-5-3
 フォント1F
 TEL 046-240-7450
 FAX 046-261-5615
 bakudou@kanagawa.email.ne.jp



「艦載機訓練とオスプレイ飛来中止」を訴え、厚木基地正門前で抗議行動（6月3日）

激しさ増す爆音と目立つ危険な飛行

厚木基地の現状は「爆音は受忍限度を超え違法」と司法の判断が下されても、一向に改善されないどころか、年々激しさを増しています。今年も4月下旬に空母出航前の艦載機離着陸訓練を硫黄島で実施するという通告がありました。米軍は基地周辺住民の生活に配慮し、離着陸訓練だけでなく、厚木

繰り返される住民無視 爆音に抗議と苦情電話を

基地を使用した訓練を軽減すべきですが、通告期間中、厚木を離着陸する空母艦載機の飛行回数は逆に増えています。しかも通常訓練より大きな騒音を引き起こす離着陸訓練も行われました。そして5月には、機械的トラブルにより米空母ロナルド・レーガンの出航が延期されたため、離着陸訓練を再度実施するとの通告があり、艦載機の訓練飛行は継続され、深夜にも及びました。また、爆音だけで

なく危険な飛行も目立ちました。M

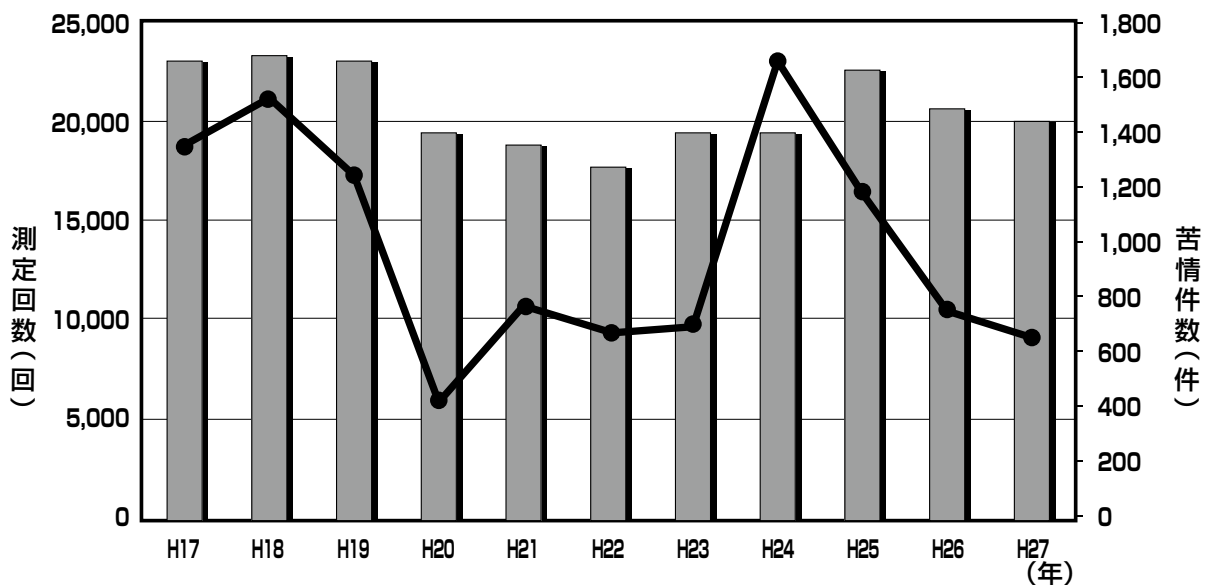
V22オスプレイが飛来する中、空母艦載機が2機同時に離陸したり、離陸直後の急旋回、進入時も3〜4機が接近した編隊飛行を行い連続して着陸するなど、住宅密集地の上空にもかかわらず、住民の不安を無視した危険な訓練飛行を繰り返しました。厚木爆同はこうした現状に強く抗議するため、6月はじめ厚木爆音訴訟団、県央共闘会議、平和センターの仲間たちと連帯し、「艦載機の訓練とオスプレイ飛来の中止」を求め、厚木基地正門前で抗議行動を行い、米海軍厚木司令官あての抗議・要請文を手渡しました。

苦情電話件数は爆音被害のバロメーター

この間、基地周辺の各自治体には苦情電話が殺到しました。「飛行機の爆音で耳鳴りがおさまらない」「ひっきりなしに戦闘機やヘリコプターが屋根すれすれに飛び回り寝ることもできない」「夜間は飛行禁止ではないのか」「夜間に爆音をまき散らすのは非常識」「市として米軍に抗議してほしい」といった内容です。「いくら苦情電話をかけても少しも変わらず意味がない」との会員の声を聞きますが、決して

大和市過去10年の年間苦情件数と年間騒音測定回数

(年間騒音測定回数は、厚木基地滑走路から北約1Km地点の住宅地における70dB以上、5秒以上の継続音など)



〔資料提供：大和市基地対策課〕

ムダではありません。この苦情電話件数と苦情の内容は各自治体の基地対策協議会や関係部署に報告され、国に対する要請書等の中にも苦情電話件数が報告されます。行政にとって苦情電話件数は爆音の凄さを示すバロメーターと位置づけられています。爆音は様々な市民に苦痛を与えています。重い病を患っている人、学校で授業を受けている子供たち、夜も眠れずに悩む人、大事な家族との電話も聞こえない人など千差万別ですが、言葉で言い尽くせない損害を受けています。こうした環境を一刻も早く解決するため、爆音がうるさいときは全会員が苦情電話をかけましょう。あきらめず一人ひとりが抗議の声を上げましょう。

(厚木爆同委員長・大波修二)

夜間にオスプレイ6機 監視・抗議行動を強めよう



編隊を組んで厚木基地を離陸するオスプレイ（7月20日）

南関東防衛局より、「7月16日～20日までの間、米海兵隊MV22オスプレイが東富士演習場（御殿場市）において、空挺降下を含む離着陸訓練を実施する」との通告があったため、厚木爆同は第四次訴訟原告団・県央共闘会議・神奈川平和センターの仲間と連帯し、この間、厚木基地監視・オスプレイ飛来抗議行動を行いました。18日には大波委員長はじめ5名の爆同役員が東富士演習場を訪れ、静岡県平和・国民運動センターの鈴木事務局長の案内でオスプレイ監視活動を行いました。

オスプレイは厚木基地に16日に1機、19日には午後9時過ぎに6機が飛来し家庭の団らんを打ち壊す不気味な重低音の爆音が夜空に響き渡りました。更に21日も1機飛来するなど、厚木基地を拠点とするオスプレイの危険な飛行訓練がより活発化しており、今後も監視・抗議行動を強化しましょう。

支部から ごんじちは！

相模原支部 山村 充夫

6月4日に空母ロナルドレーガンが横須賀を本格出港しましたが、しばらくは米軍艦載機の飛行が相模原の空でも続いていました。CQと呼ばれる空母着艦資格を取るための試験が行われていた模様ですが、そのほかにも厚木基地への外来機の飛来が頻繁にありました。6月17日には米軍哨戒機のP-8Aや岩国海兵隊所属のF/A18C戦闘機などが厚木基地に飛来しました。外来機は米軍機だけでなく、海上自衛隊のOP-3Cが岩

頻繁に外来機が飛来

6月4日に空母ロナルドレーガンが横須賀を本格出港しましたが、しばらくは米軍艦載機の飛行が相模原の空でも続いていました。CQと呼ばれる空母着艦資格を取るための試験が行われていた模様ですが、そのほかにも厚木基地への外来機の飛来が頻繁にありました。6月17日には米軍哨戒機のP-8Aや岩国海兵隊所属のF/A18C戦闘機などが厚木基地に飛来しました。外来機は米軍機だけでなく、海上自衛隊のOP-3Cが岩

EUが「反」になる

6月23日、英国でEU（欧州連合…28ヶ国）に残留か離脱かの国民投票があり、51・9%対48・1%で離脱が決まった。二度の世界大戦で三千万・五千万の命を失った欧州では、「戦争は国々の資源の取り合いで始まったから、戦争を防ぐのは資源の共同管理から」と、1951年、独・仏が中心となって石炭鉄鋼共同体を結成したのが欧州統合の動きのはじまりで、58年EEC ↓67年EC ↓93年EU ↓02年通貨ユーロ流通へと発展した。EUは、圏内で

NHK受信料問題のゆく

私たちは、NHK受信料の全額助成を国に求める運動として受信料不払いに取り組み、その成果としては、197

の人、モノ、カネ、サービスの移動が自由な経済圏を形成し、各国の共存共栄を図っている。英国は73年EC加入以来その重要な構成国だが、デンマーク・スウェーデンとともにユーロは使っていない。

拡がる排外主義

英国のEU離脱は、主権と移民問題が論点になった。誇り高い栄光の大英帝国が欧州連合国の一州に過ぎないような地位に甘んずることはできないという「英国第一主義」、流入する移民に職をうばわれるという排外主義が僅差

0年に受信料の半額助成区域を大和市全域にさせるとともに厚木基地から東西1キロ、南北5キロの範囲を勝ち取る大きな成果をあげました。

このような中、NHKから受信料の委託を受けた訪問員は、いつまでも同じことを言っただけで帰ろうとせず、なかには大声をあげ強い口調で脅迫めいた態度での訪問が増えており、会員とのトラブルが多発しています。

会員の皆さんは、本年3月配布の受信料問題のパンフレット「爆音がなくなるまではNHK受信料を払えません！」を再度お読み頂くとともに、訪問員に脅かされたり、強要された時は、訪問員の名前を必ず確認して厚木爆同事務所または支部長や班長さんに連絡してください。また、訪問員から書類にサインを求められても絶対に記入しないことや支払いをしないことで受信料の全額助成を勝ち取りましょう。パンフレットが必要な方は、事務所までご連絡下さい。

◆厚木爆同事務所 ☎046-2407450

厚木爆同ホームページにアクセスしよう (http://www.atsugibakudou.com/)



会員の皆さんから「爆同の最新情報を早く入手できるようにしてほしい」との声をいただき、ホームページを開設して1年半になりました。ホームページには▼活動予定▼厚木基地関連の報道▼活動報告▼爆音被害の実態▼各種データ▼NHK受信料問題▼主な航空機▼会報▼爆同入会申し込み等々があります。ホームページへのアクセスは「爆同」で検索して下さい。

ながら残留派を上回った。米国でも「イスラム教徒やメキシコ等からの不法入国をみとめない」という大統領候補トランプ氏は「米国第一主義」を標榜している。

日本はどうだろう。「世界の中心で活躍する強い日本を取りもどしたい」という首相の下、「きたない朝鮮人は日本から出ていけ」というヘイトスピーチがあり、八紘一宇＝日本中心主義を信奉する神奈川選出参議院議員がいる。ロシア人も中国人も「我が国が一番」と言うようだと世界はどうなるの？

「二番じゃダメなんですか？」

(情宣部・中坪 清)